

## 「企画発想力・情報発信力アップセミナー」

### 1 趣 旨

- 主体的に社会参画を目指す青年・社会人に対し、事業の企画等に関する学びの場を提供することで、社会の課題に目を向けた企画発想力・情報発信力の向上を図る。

### 2 事業の概要

- (1) 期 日 令和3年9月3日(金)、9月4日(土)、9月5日(日) 全日程日帰り  
(2) 会 場 松江市川津公民館  
(3) 対 象 企画・運営等の知識を深めたい青年・社会人  
(4) 参加者 大学生11名 ※募集30名程度  
(5) 講 師 リードクライム株式会社代表取締役 西 直人 氏  
(6) 日程・研修内容

#### 【1日目：9月3日(金)】

- 13:00～ オープニング  
13:30～ 講義①ブレインストーミングについて  
13:45～ 演習①ブレインストーミングに挑戦しよう  
15:00～ 講義②企画の立て方について  
15:30～ 演習②プロファイリングに挑戦  
17:00 終了

#### 【2日目：9月4日(土)】

- 9:30～ 講義③広報・情報発信について  
10:15～ 演習③この人に情報を届けるには  
11:00～ 演習④企画作成トレーニング  
12:00～ 昼食・休憩  
13:00～ 演習④企画作成トレーニング  
17:00 終了

#### 【3日目：9月5日(日)】

- 9:30～ 講義④SDGsについて  
10:30～ 演習④企画作成トレーニング  
12:00～ 昼食・休憩  
13:00～ 企画発表会  
14:30～ 講評・質疑応答  
15:00～ ふりかえり・クロージング  
16:00 解散

### 3 事業の特色

- (1) プログラムデザインと企画のポイント

- これまでは「さんべ夢ステージ」のひとコマとして実施していたが、今回は「さんべ夢ステージ」の参加者以外も受講ができるよう、事業を独立させて実施した。  
○ SDGsの講義を取り入れることで、参加者自身が現代社会の課題を意識し、作成した企画に関連付けられるような事業構成とした。

(2) 運営のポイント

- 新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、西直人氏と会場をオンラインでつなぎハイブリッド型で事業を開催した。
- 島根県内の主な大学からは、宿泊を伴う学生の課外活動を自粛する措置が出されていたため、宿泊での実施を困難と判断し、3日間の日帰りでの事業実施とした。

(3) 広報のポイント

- 日帰りでの実施となったことで、学生人口が多い島根県東部に参加エリアを絞り、参加者が集いやすい松江市内に会場を設定し広報を行った。

#### 4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計 (%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
事業全体	100	0	0	0
プログラム	100	0	0	0
運営	100	0	0	0
講義・演習の内容	100	0	0	0
職員の対応	100	0	0	0

(2) 参加者の声

- メインターゲットの絞り込みが大事なことを学んだ。
- 企画を作る中で、オリジナルのアイデアを考え出すことが難しかった。

#### 5 成果と課題

《成 果》

- 本事業は企画作成において社会の課題に意識を向けることをひとつの目標として掲げていたが、「自分の考えが他人に必要とされているのかを考えることによって作業が難航した。」という参加者の言葉から、他者のニーズや社会から求められていることを意識した企画作成の重要性を促すことができたのではないかと考える。
- 「メインターゲットの絞り込み」の重要性を伝えることができた。

《課 題》

- 今回は参加者一人一人が企画書を作成し、企画作成の流れやポイントを学ぶことを目標とし、その目標を達成することはできたが、チームで企画を作成することや企画をかたちにする機会を設けることにより、参加者の学びをさらに深めることができると感じたので、次回はチームでの企画作成等も取り入れたい。
- 日帰り3日間での事業実施は、参加者の移動にかかる時間や経費の負担を考慮すると島根県全域から参加者を募ることが困難であると感じた。



(担当：事業推進係員 木元 謙太郎)